

2022年9月2日

和歌山県知事
仁坂 吉伸 殿

新型コロナウイルス感染及び物価高騰から県民の暮らしを守る施策を求める 要請書

和歌山県社会保障推進協議会

代表幹事 三谷 晃

代表幹事 佐藤 洋一

代表幹事 琴浦 龍彦

代表幹事 武内 正次

代表幹事 中谷 弘子

新型コロナウイルス感染拡大の第7波に入って以降、和歌山県でも感染拡大が爆発的に増えています。政府はこれまでの反省と教訓を踏まえた感染対策を打ってこなかったために、医療崩壊の危機が迫っています。政府は経済活動も並行してすすめると言っていますが、コロナと物価高騰の影響を受けて県民生活は一層厳しくなっています。つきましては、県行政において、必要な施策を講じて頂くよう、要請します。

記

1. 国保料・税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を引き下げること。
2. コロナ感染による治療費は後遺症障害の治療も含めて公費負担とすること。
3. 障害のある方が感染した場合に、優先的に入院できるようにすること。
4. 自宅療養者への食料・日用品の配布を継続し、女性には生理用品を加えること。
5. 75歳以上の医療費窓口負担の2割への引き上げは中止するよう、政府に求めること。
6. 紹介状なしに大病院に受診した際にかかる選定療養費を7千円に引き上げることは中止するよう、政府に求めること。
7. 医療機関に対してオンライン資格確認等システムの導入を義務づけることは中止するよう、政府に求めること。
8. フードバンクなど貧困支援を行っている団体に対して、県の備蓄食料等を提供すること。また、支援団体との連携を強め、県として主体的に貧困対策を行うこと。
9. 農家の肥料、資材の高騰に対して、直接所得を補償する支援を行うこと。

以上